

UiPath 利用ポリシー

本ポリシーは、UiPath 株式会社（以下「**UiPath**」といいます。）と本テクノロジー又は本サービスを利用し、その他アクセスするお客様又はパートナー（以下「**お客様**」といいます。）との間のライセンス契約（以下「**本契約**」といいます。）とともに参照されるものです。

定義語 本ポリシーに別途定義されない限り、本ポリシーにて使用される用語は、本契約において定める意味を有するものとします。疑義を避けるために付言すると、以下の用語は、以下のとおり定義されます。

- ➔ 「**開発**」又は「**設計**」とは、自動化ワークフローの作成をいいます。
- ➔ 「**本番使用**」とは、その企図された用途に従って、お客様の作業環境でプログラムを実行することをいいます。
- ➔ 「**本サービス**」とは、直接的又は間接的に、UiPath 又はその関係会社が提供するあらゆるサービス（サポート・サービス及びプロフェッショナル・サービスを含みます。）及び関連する成果物をいいます。
- ➔ 「**本テクノロジー**」とは、UiPath 又はその関係会社によってオンプレミスで又はクラウド上で利用可能な一切の本ソフトウェアのコンポーネント、二次的著作物、それらの改良並びにバックグラウンド知的財産権をいいます。

第 1 条 本テクノロジーの利用規則

- (a) UiPath によって明示的に許可される場合を除き、お客様は、本番用の本テクノロジーと非本番用の本テクノロジーとを併用しないものとします。
- (b) お客様は、ライセンスポリシーに従い本テクノロジーを使用しなければならず、割り当てられたライセンスの数、その他の使用制限を超えてはならず、また、本テクノロジーへのアクセスを管理するために UiPath により定められたあらゆる技術保護対策を回避してはなりません。
- (c) UiPath によって別途指示される場合を除き、お客様は、不可抗力による災害復旧の目的に必要な場合にのみ、本テクノロジー及び一切の関連するライセンスを複製することができます。UiPath は、当該不可抗力事由を証明する関係資料をお客様に対し要求することができます。
- (d) お客様は、(i)ベンチマーキング又は比較の目的で、本テクノロジー又はアウトプットを検査又は分析するため、(ii)二次的著作物を設計、修正、作成する又は本テクノロジーが果たす機能に類似する機能を果たす何らかのプログラムを作成するため、(iii)何らかの技術仕様を取得し、競争力のある技術又は事業における優位な立場を得るため、(iv)何らかの権利を悪用若しくは侵害するため、又は何らかの法律若しくは契約に違反するため、(v)UiPath、その関係会社又はそれらの認定ユーザーのいずれかのシステムの非公開の範囲についてアクセス、改竄又は使用するため、(vi)本テクノロジーに関してあらゆる種類のセキュリティテスト（ペネトレーションテストを含みます。）を実施するために、本テクノロジーを使用してはならず、かつ、第三者をしてかかる使用をさせないものとします。
- (e) お客様は、本テクノロジー又はその一部の逆アセンブル、逆コンパイル又はリバース・エンジニアリングを行わないものとします。お客様は、本テクノロジーのフィーチャー又は機能を変更、改変、統合、修正、翻案、逆コンパイル、バージョン開発、二次的著作物作成、リバース・エンジニアリング、アップグレード、改良若しくは拡張を行い、又はその他の方法で本テクノロジーからソースコードを抽出し、又はその他の方法で人が解読できる形式に変換してはなりません。但し、適用法において明示的に許可される範囲内において行う場合であって、本テクノロジーと他のソフトウェア・プログラムとの相互運用性を実現するためにこれらを行うことが必須である場合で、かつ、お客様が相互運用性を実現する上で必要な情報を提供するよう 90 日以上前に UiPath に対して書面で要求したにもかかわらず、UiPath が当該情報を提供しなかった場合に限り、この例外とします。

- (f) お客様は、本テクノロジーに含まれるいかなる権利表示も削除、変更、修正又は盗用若しくは自己の物として使用してはなりません。
- (g) お客様は、本契約に基づいて取得したお客様の権利を再販、サブライセンス（再許諾）、譲渡、移転、無償若しくは有償での貸与、リース、又はその他の方法で販売してはなりません。
- (h) お客様は、外国為替及び外国貿易法その他の輸出管理法を含む、米国法、欧州連合法その他適用ある法律により禁止されている目的のために、又はシステムの使用若しくは不具合が、生命の安全を脅かす状況、重い身体的危害若しくは環境被害若しくは物的損害につながる可能性のある何らかのシステム的设计、構築及び／若しくは運営に関連して、本テクノロジーを使用してはなりません（例えば、核、アビオニクス、生命維持又はその他のライフクリティカルなアプリケーションに関連する使用を含みます。）。本テクノロジーは、フォールト・トレラントではなく、かかる使用のために設計されておらず、UiPath 及びその関係会社は、かかるリスクの高い使用について一切の責任又は保証を明示的に否認します。
- (i) お客様は、本テクノロジーの提供中にかつ提供に関連してアクセスされ得る全てのシステムからのデータをバックアップし、かかるデータの正当性を確認するものとします。UiPath は、データの損失又はその破損について一切責任を負いません。
- (j) お客様は、お客様が本テクノロジーとともに使用する可能性のあるあらゆるデータ、製品、サービス、プラットフォーム等の第三者プロバイダにより要求される全ての条件を遵守し、かつ、かかる使用に係る全てのリスクを負担しなければなりません。
- (k) UiPath によって書面で明示的に承認された場合を除き、お客様は、サービスビューロー、マネージドサービス又は商業的ホスティングサービス環境において運用するために、本テクノロジーを使用してはなりません。
- (l) お客様は、お客様によって本テクノロジーへのアクセスを付与される全ての第三者に対して本契約（本ポリシーを含みますが、それに限られません。）におけるお客様の全ての義務を負担させ、かつ、かかる第三者のかかる義務の遵守に対して責任を負うものとします。
- (m) お客様は、本契約において企図される個人データの使用について必要な一切の承認及び同意を取得し、維持するものとします。

第 2 条 UiPath がお客様に本サービスを提供する場合、お客様は以下の要件に同意します。

- (a) お客様は、本サービスの提供中及び本サービスの提供に関連してアクセスされ得る全てのシステムのデータをバックアップし、かかるデータを確認するものとします。UiPath 及びその関係会社は、データ損失又はその破損について一切責任を負いません。
- (b) お客様は、支払済の本テクノロジー及び本サービス以外のハードウェア又は本テクノロジーに関連するインストール、展開支援又はインシデント解決について UiPath の支援に依拠しないものとします。
- (c) お客様は、本サービスの提供においてお客様が UiPath に追加を要求する一切の第三者の製品について、お客様が全ての必要な権利（適切なライセンス及び使用権を含みますが、それらに限られません。）を有することを確認するものとします。
- (d) お客様は、プロフェッショナル・サービスの一環として UiPath が提供する成果物を、本テクノロジーに関連してのみ使用するものとします。
- (e) お客様は、UiPath が明示的に許可しない限り、成果物と非本番目的のための本テクノロジーを混同しないものとします。
- (f) お客様は、(i) ベンチマーキング又は比較の目的で、成果物又はアウトプットを検査又は分析するため、(ii) 二次的著作物を設計、修正、作成する又は成果物が実行する機能に類似する機能を実行するプログラムを作成するため、(iii) 技術仕様を取得し、競争力のある技術又は事業における優位性を獲得するため、(iv) 権利を悪用若しくは侵害するため、又は法律若しくは契約に違反するため、(v) UiPath、その関係会社又はそれらの認定ユーザーのシステムの非公開の範囲についてアクセス、改竄又は使用するため、(vi) UiPath によって承認されず、又は承認された制限範囲を超えて、成果物に対するあらゆる種類のセキュリティテスト（ペネトレーションテストを含みます。）を実行するために、成果物及び本サービスを使用してはならず、かつ、第三者をしてかかる使用をさせないものとします。

- (g) お客様は、成果物又はその一部の逆アセンブル、逆コンパイル又はリバース・エンジニアリングを行わないものとします。お客様は、成果物若しくは本サービスのフィーチャー若しくは機能を変更、改変、統合、修正、翻案、逆コンパイル、バージョン開発、二次的著作物作成、リバース・エンジニアリング、アップグレード、改良若しくは拡張を行い、又はその他の方法で成果物若しくは本サービスからソースコードを抽出し、又はその他の方法で人が解読できる形式に変換してはなりません。但し、適用法において明示的に許可される範囲内において行う場合であって、成果物又は本サービスと他のソフトウェア・プログラムとの相互運用性を実現するためにこれらを行うことが不可欠である場合で、かつ、お客様が相互運用性を実現する上で必要な情報を提供するように 90 日以上前に UiPath に対して書面で要求したにもかかわらず、UiPath が当該情報を提供しなかった場合はこの限りではありません。
- (h) お客様は、本サービスに含まれるいかなる権利表示も削除、変更、修正又は盗用若しくは自己のものとして使用してはなりません。
- (i) お客様は、本契約に基づいて取得したお客様の権利を再販、サブライセンス（再許諾）、譲渡、移転、無償若しくは有償での貸与、リース、又はその他の方法で販売してはなりません。
- (j) お客様は、外国為替及び外国貿易法その他の輸出管理法を含む、米国法、欧州連合法その他適用ある法律により禁止されている目的のために、又はシステムの使用若しくは不具合が、生命の安全を脅かす状況、重い身体的危害若しくは環境被害若しくは物的損害につながる可能性のある何らかのシステム的设计、構築及び／若しくは運営に関連して、本サービス又は成果物を使用してはなりません（例えば、核、アビオニクス、生命維持又はその他のライフクリティカルなアプリケーションに関連する使用を含みます。）。本サービス及び成果物は、フォールト・トレラントではなく、かかる使用のために設計されておらず、UiPath 及びその関係会社は、かかるリスクの高い使用について一切の責任又は保証を明示的に否認します。
- (k) お客様は、お客様が成果物及び本サービスとともに使用する可能性のあるあらゆるデータ、製品、サービス、プラットフォーム等の第三者プロバイダにより要求される全ての条件を遵守し、かつ、かかる使用に係る全てのリスクを負担しなければなりません。
- (l) UiPath によって書面で明示的に承認されていない限り、お客様は、サービスビューロー、マネージドサービス又は商用ホスティングサービス環境において運用するために、成果物を使用してはなりません。
- (m) お客様は、お客様によって成果物及び／又はサービスへのアクセスを付与される全ての第三者に対して本契約（本ポリシーを含みますが、それらに限られません。）におけるお客様の全ての義務を負担させ、かつ、かかる第三者のかかる義務の遵守に対して責任を負うものとします。
- (n) お客様は、本契約において企図される個人データの使用について必要な一切の承認及び同意を取得し、維持するものとします。

第 3 条 お客様が UiPath 又はその関係会社の本テクノロジー及び／又は本サービスとともに、若しくはそれらにおいて又はそれらの一部として人工知能及び機械学習技術に基づく技術（以下「AI システム」といいます。）を使用する場合、お客様は少なくとも以下の原則を遵守しなければなりません。

- (a) お客様は人及び人権を尊重し、AI システムの利用に関する実務的及び感情的な要素を考慮するものとします。
- (b) お客様は、高品質、高容量かつ偏りのないデータを使用し、お客様の AI システムの設計及び作成その他改変にあたって個人情報を使用のために定められる規則を遵守するものとします（UiPath、その関係会社又はその他の著作権者によって作成又は改変が許可されている場合。）。
- (c) お客様は、明白な態様でプライバシーバイデザインの原則を用い、かつ、ユーザー又は AI システムの影響を受ける者に AI システムの動作方法を説明する文書を提供できるものとします。
- (d) お客様は、AI システムの適用の結果を定義し、その限界及び AI システムの学習に使用されるデータの限界について説明責任を負うものとします。

- (e) お客様は、お客様の AI システムにより自動意思決定メカニズムが可能になる場合又は別途要求される場合は、当該プロセスに人間の決定者を関与させるものとし、
- (f) お客様は、お客様の AI システムの設計若しくは作成又はその他改変若しくは再学習にあたって、お客様の設計プロセス及び意思決定について詳細な記録を維持すること（UiPath、その関係会社又はその他の著作権者によって作成又は改変が許可されている場合。）。

第 4 条 UiPath は、関連する特定の条項及び条件に従って、一定の製品・サービス等の提供を行い、又はライセンスを提供することができます。

- (a) **アップグレード・サポート・ライセンス**：お客様は、UiPath がその単独の裁量で提供するアップグレード・サポート・ライセンスを必要とする場合があります。お客様は、本テクノロジーをあるバージョンから別のバージョンにアップグレードする目的のために必要な場合にのみ、かかるアップグレード・サポート・ライセンスを使用するものとし、アップグレード・サポート・ライセンスの数は、常に、お客様の本番用ライセンスの数を超えないものとし、
- (b) **非本番用のライセンス**：UiPath は、本テクノロジーのライセンスを、非本番目的での使用（例えば、内部トレーニング、評価等）に限定して、お客様に提供することができます。お客様は、商用目的のために又は本番環境において、該当する本テクノロジー又は本サービスを使用しないものとし、お客様は、個人情報又は保護対象の健康データ、カード保有者に関する若しくは取り扱いに注意を要する認証データ（適用あるプライバシー法に定義される情報を含みます。）を一切含まない、本テクノロジー又は本サービスの中の「ダミーデータ」のみを使用するものとし、
- (c) **トライアル版ライセンス**：UiPath は、お客様に対して、UiPath が明示的に「トライアル版」として指定し提供した本テクノロジーのライセンスを提供する場合があります。お客様は、本技術の使用に関連する全てのリスクを負担して、本番環境において、本番目的でそれらを使用することができます。UiPath は、自己の裁量で、トライアル版ライセンスに対しスタンダードサポートを提供することができます。
- (d) **Automation Express ライセンス**：お客様は、個人又は私用の目的（本番環境における本番目的での使用を含みます。）でのみ、Automation Express ライセンスを使用することができます。お客様は、かかる本テクノロジーの使用に関する全てのリスクを負うものとし、お客様は、(i) お客様の会社の他のユーザーと共同して Automation Express ライセンスを使用し、(ii) Automation Express ライセンスのアウトプットを、お客様の会社の他のユーザーに共有又はその他の方法でアクセスを提供し、(iii) Automation Express ライセンスを使用してお客様の会社の他のユーザーが開発した自動化アプットにアクセスしてはなりません。
- (e) 特定のパッケージ及びプレビューの提供：お客様が特定のパッケージ又はプレビューの提供を受けるためには、特定の条件を満たす必要があります。また、追加の条件が適用される場合があります。更なる詳細については UiPath のウェブサイトをご覧ください。

第 5 条 UiPath がお客様側の非アクティブ状態を認識した場合、又はお客様が契約を更新しない場合、UiPath は、以下の措置を講じる権利を有します。

- (a) コミュニティ版：UiPath がお客様の使用につき連続する 90 日を超える日数の非アクティブ状態を認識した場合、UiPath は、お客様のアカウントを閉鎖し、かつ／又はお客様が本テクノロジーにインポートしたデータを削除し、当該データを復元することはできなくなります。
- (b) トライアル版エンタープライズ：本テクノロジーのコンポーネントのトライアル・ライセンス期間の終了までに、お客様がエンタープライズ・バージョンを購入しない場合、UiPath は、お客様の企業等についてコミュニティ版にダウングレードする権利を有します。

トライアル期間中にお客様がアクセスした本テクノロジーのコンポーネントの一部を利用することができなくなり、当該コンポーネントにインポートされたデータは UiPath によってその裁量で削除され、当該データを復元することはできなくなります。

- (c) エンタープライズ版：本テクノロジーのコンポーネントのエンタープライズ・ライセンス期間の終了までにお客様がエンタープライズ契約を更新しない場合、UiPath は、お客様の団体について無償のライセンスプランにダウングレードする権利を有します。エンタープライズ期間中にお客様がアクセスした本テクノロジーのコンポーネントの一部を利用することができなくなり、当該コンポーネントにインポートされたデータは UiPath によって削除され、当該データを復元することはできなくなります。

第 6 条 UiPath にアカウントを作成する場合、以下の規定が適用されます。

(a) **アカウントの基本及び認められる行動**

- (i) アカウント名は、先に登録された順で提供され、即時かつ積極的に利用されることを目的としています。
- (ii) アカウント名を売却、購入し、又はアカウント名と引き換えに、その他の形での支払を求めようとすることは禁止されています。
- (iii) お客様は、アカウントのアクティブ状態を維持するためには、定期的にログインする必要があります。
- (iv) お客様が会社又は団体に帰属する又は関連する電子メールアドレスでアカウントを作成する場合、UiPath は、誠実さの観点から、お客様が当該事業体を代表し、かつ、拘束する権限を有しているものとみなします。
- (v) お客様がアカウントを通じてアクセスする情報は全て機密性があり、UiPath 及びその関係会社に帰属します。本契約に基づき許可される場合を除き、お客様は、かかる情報を開示しないものとします。
- (vi) UiPath は、本テクノロジー及び本サービスの利用及び運営を可能にするために、お客様のアカウント情報を保存、使用及び加工することができるものとします。
- (vii) お客様は、サービス、アカウント、コンピューター・システム又はネットワークへの不正アクセスを試み、又はこれらに不正アクセスしてはならず、また、システム若しくはネットワークの認証若しくはセキュリティ対策の回避、又は当該システム若しくはネットワークの脆弱性のテストを行わないものとします。
- (viii) お客様は、ユーザー、ホスト若しくはネットワークの妨害の試み又は妨害を行ってはならないものとします（例えば、ウイルスの送信、過負荷、スパムメールの送信若しくはメール攻撃による妨害、又はマルウェアの配布、個人若しくは事業体との提携関係の偽装若しくは虚偽の表示をするための本テクノロジー若しくは本サービスの使用）。
- (ix) お客様は、パスワードその他のログイン情報を安全に保ち、お客様のアカウントを通じて行われる全てのアクティビティを監視及び管理するものとします。
- (x) お客様は、お客様の UiPath のアカウントに関する違法若しくは不正なアクティビティ又はセキュリティ違反の疑いがある場合（ユーザー名又はパスワードの紛失、盗難、又は不正な開示若しくは使用を含みます。）、security.breach@uipath.com 宛てに UiPath に通知するものとします。
- (xi) お客様は、アカウント名を売却、購入し、又はアカウント名と引き換えに、その他の支払等を求めることは許されていません。

(b) **氏名・名称のスクワッティング**

- (i) UiPath は、お客様が提携関係を有しない個人又は団体の名称を、誤解を招く方法で使用しないことについて、お客様の誠意を信頼します。不正使用は、商標権侵害を構成する場合があります、UiPath は当該不正使用に対して措置を講じることができます。
- (ii) お客様が、第三者がお客様の団体の商標で保護されたマテリアルを使用しているか又はお客様の団体との提携関係を暗示していると考えられる場合には、「アカウント名検討」と表題を付けて legal@uipath.com 宛てに UiPath まで電子メールをお送りください。UiPath が当該事項を評価いたします。

(c) **アカウントの削除**

- (i) UiPath は、一定の状況において、お客様のアカウントを削除又は停止することができます。
- ・ **非アクティブ状態**：お客様の無料アカウントが 90 日以上非アクティブ状態であると UiPath が合理的に判断する場合。例えば、どのユーザーもサインインしておらず、どの自動化ジョブも実行されていない場合。
 - ・ **違反**：お客様がお客様の義務（本契約及び本ポリシーに定めるものを含みます。）に違反したと UiPath が合理的に疑う場合。
 - ・ **料金**：お客様が、期限が到来し、又は UiPath が同意した延長された猶予期間中に、関連する料金を支払わない場合（該当する場合）。
 - ・ **侵害**：アカウントの維持が違法である可能性がある又は第三者の権利を侵害している可能性があるとして UiPath が合理的に疑う場合。
 - ・ **要求時**：UiPath がお客様のアカウント情報をさらに保持する法的義務又は正当な利益を有していない状況下で、お客様から要求があった場合。
- (ii) お客様のアカウントが削除された場合、お客様は、もはやサインインできなくなり、アカウント名を含むお客様のアカウント内の全てのデータが永久に削除され、復元できなくなります。
- (iii) UiPath は、アカウントを削除又は停止する前に、お客様に通知するために合理的な措置を講じることができますが、その義務を負いません。
- (iv) UiPath 及びその関係会社は、本ポリシーの適用の結果としてデータが失われた場合には、責任を負いません。
- (v) 終了時に、UiPath は、UiPath の法的義務を遵守し、紛争を解決し、UiPath の契約を執行するため、必要に応じて、お客様の情報を保持し、使用することができます。

第 7 条 お客様の倫理的義務及び行動について

- (a) お客様は、UiPath 又はその関係会社を含むすべての個人又は団体に対する誹謗中傷、付きまとい行為、ハラスメント若しくは脅迫、又は暴力行為の計画を行わないものとします。
- (b) お客様は、不正な目的のために、本テクノロジー、成果物を使用せず、又は本サービスにアクセスしないものとします。
- (c) お客様は、政治、選挙又は民主主義に関する手続に介入する目的で、本テクノロジー、成果物又は本サービスを使用せず、第三者にも使用させないものとします。

UiPath 及びその関係会社は、書面による事前の通知を行うことなく、<https://www.uipath.com> において随時、本ポリシーを更新する権利を有します。

UiPath 又はその関係会社は、重要な変更について、トラスト・ポータル上又は本テクノロジー内に表示することによりお客様に通知します。更新された本ポリシーは、通知日から 30 日以内に、又は通知において別途定めるところに従い、発効します。変更が発効した後もお客様が本テクノロジーの利用を継続する場合、UiPath は、お客様がかかる変更にご同意したものとみなします。本ポリシーに関するお客様の不満に対する唯一の救済は、本テクノロジーの利用を中止することです。